

# Newsletter

Vol. 18



チュラロンコン大学 - 東京医科歯科大学  
研究教育協力センター

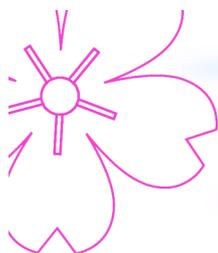


CU-TMDU Research and Education Collaboration Center, Thailand

April 28th, 2022

## 目次:

① 今後の期待	1
② タイ、入国隔離免除を停止 オミクロン株の拡大警戒	2
③ JDP4大学合同の教職員FD研修の開催	3
④ マヒドンJDP 第二期生との面談	4
⑤ チュラJDP学位論文審査・試験	5

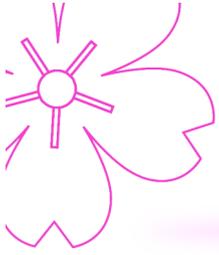


## ① 今後の期待

2020年1月頃より始まった新型コロナウイルス感染症は、国内においては波の強弱があり、この原稿を書いている現在は第6波がやっとピークを越えたという段階です。この2年間、新型コロナウイルス感染症の状況ばかりが気になりました。国際的な人の交流が減少しました。2021年に延期された東京オリンピックの頃には改善されるかと期待されましたが、そうもいきませんでした。人的交流はずっと制限されたままでした。チュラロンコン大学とのジョイントディグリープログラム（JDP）の学生の来日の予定も大幅に遅れ、滞在期間も短くなっている状況です。また、マヒドン大学のJDPの学生の受け入れ日程についても明確に決めることができません。これらは、日本政府の外国人留学生の受け入れ状況によるものではありませんが、JDPの充実のためにはどのようにしてカリキュラムの順調な運営を行っていくかという観点から、十分に考えていく必要があります。

このように、様々な問題も生じてはおりますが、JDPそのものは、オンライン教育やテレ会議などによって順調に運営されています。また、学部学生の交流がなかなかできない状況ではありますが、オンライン学生交流会なども行われるなど、少しでも学生の交流機会を増やすべく努力を行っております。コロナ禍と言われる状況ではありますが、これまであまり考えられてこなかったような新しい発想での関係が様々に作られています。多くの知恵を絞り、前例の身にとらわれずに、国際的教育活動の将来のあるべき姿を創造していきたいと考えています。■

\*タイ拠点運営管理者 臨床解剖学分野 秋田 恵一教授



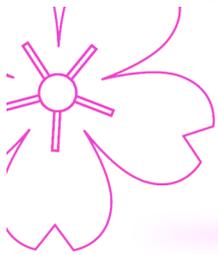
## ② タイ、入国隔離免除を停止 オミクロン株の拡大警戒

2021年4月から始まったタイの感染拡大第3波は、8月中旬のピークにわたって感染者の減少傾向が続いていましたが、2022年1月から感染者が増加傾向に転じ、現時点で、1日あたりの新規感染者は1.5万人を超え、増加し続けている現状にあります。

タイ外務省は2021年11月から隔離免除でタイに入国できる国・地域（日本を含む）リストを発表しました。ワクチン接種完了などを条件に「テスト・アンド・ゴー」の入国システムの運用を開始しましたが、2021年12月から新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染拡大を受け、隔離免除の入国システムを一時停止しました。現時点（2022年2月）、新規感染者数まだ増加傾向にあります。一方で、重症者数や死亡者数が予想を下回ることから、タイ政府は経済の活性化に向け、旅行者の受け入れ拡大を目指し、隔離免除の入国システムを再開しました。再開後の変更点については、隔離免除の対象をすべての国と地域に拡大するほか、到着後に1度だけだったPCR検査の回数を増やし、一定期間に2度受けることを必要とされています。上記は、3月1日から緩和する計画であると報じました。■

✽チュラロンコン大学 客員講師 Issareeya Ekprachayakoon





### ③ 「JDP4大学合同の教職員FD研修の開催」

本学のJDP専攻では、毎年様々な分野の教員が講師となって、JDP専攻を開講している大学の全教員に知識や知見、経験を共有し、それぞれの大学の教育や研究にフィードバックを行うという目的で、毎年3月にFaculty Development Seminarを開催しています。

今年度はコロナ禍を鑑み、昨年度と同様に本学とJDPの連携大学であるチュラロンコン大学、マヒドン大学、チリ大学と共に4大学合同で作成した研修用動画をオンデマンドにて各大学で配信する形で実施しました。オンライン指導の問題点とその解決策を共有するため、「オンライン環境と評価」を共通テーマとし、各大学から選出された教員が行った講演を1本の動画に集約し、2022年3月22日から3月31日の期間に渡り、各大学で配信しました。

教員の能力向上と併せて、コロナ禍における各大学の教育現場の実態や対策を共有し、今後のコロナ対策の参考となる良い機会となりました。 ■

✧ 統合国際機構 国際交流課 JD・MPH係

Chulalongkorn University, Mahidol University, University of Chile, Clínica Las Condes and TMDU  
Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences

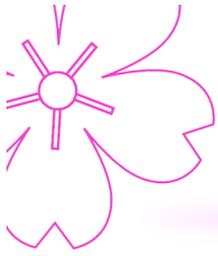
## Faculty Development Seminar 2021

For all employees and students  
**March, 2022**

Chulalongkorn University, Mahidol University, University of Chile, Clínica Las Condes and TMDU present

	<b>Online Education: Learning, Assessment, and Student Misconduct</b> <b>Dr. Supachai Chuenjitwongsa</b> -Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University -D.D.S., Ph.D., Assistant Professor
	<b>How COVID-19 affect the JDP program</b> <b>Dr. Vitoon Chinswangwatanakul</b> -Minimally Invasive Surgery unit, Department of Surgery from Mahidol University -M.D., Ph.D., MU representative in Program Administrative Committee, Chief of Division of General Surgery, Associate Professor <b>Dr. Asada Metasate</b> -Minimally Invasive Surgery unit, Department of Surgery from Mahidol University -M.D., Ph.D., Associate Professor
	<b>Impact of COVID-19 &amp; Education: Chile Experience</b> <b>Dr. Juan Pablo Torres Torretti</b> -Department of Pediatrics, Clínica Las Condes/Hospital Luis Calvo Mackenna Faculty of Medicine, University of Chile -M.D., Ph.D., Director of Innovation, Associate Professor
	<b>Challenges due to COVID-19</b> <b>Dr. MORIO Ikuko</b> -Dental Education Development, Graduate School of Medical and Dental Sciences, and Institute of Global Affairs Tokyo Medical and Dental University (TMDU) -D.D.S., Ph.D., Professor

Inquiry: JD&MPH unit: [jd@ml.tmd.ac.jp](mailto:jd@ml.tmd.ac.jp)



## ④ 「マヒドンJDP 第二期生との面談」

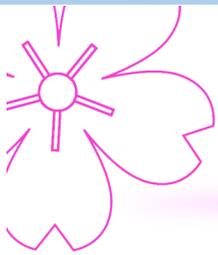


2021年11月24日、マヒドン大学JDP 2021年4月入学第2期生3名と、学生の研究テーマを考慮し選定された本学及びマヒドン大学の研究担当教員との間で、今後の研究計画について話し合い、指導を行うための面談が行われました。

第2期生3名は自身の研究課題及び研究計画のプレゼンテーションを行い、両大学の研究担当教員から今後の研究計画について意見交換、及び具体的なアドバイスを受ける貴重な機会となりました。

今後も両大学の研究担当教員が連携しながら指導を行い、研究遂行に必要な知識・技術の習得を進めていきたいと考えております。 ■

✧ 統合国際機構 国際交流課 JD・MPH係

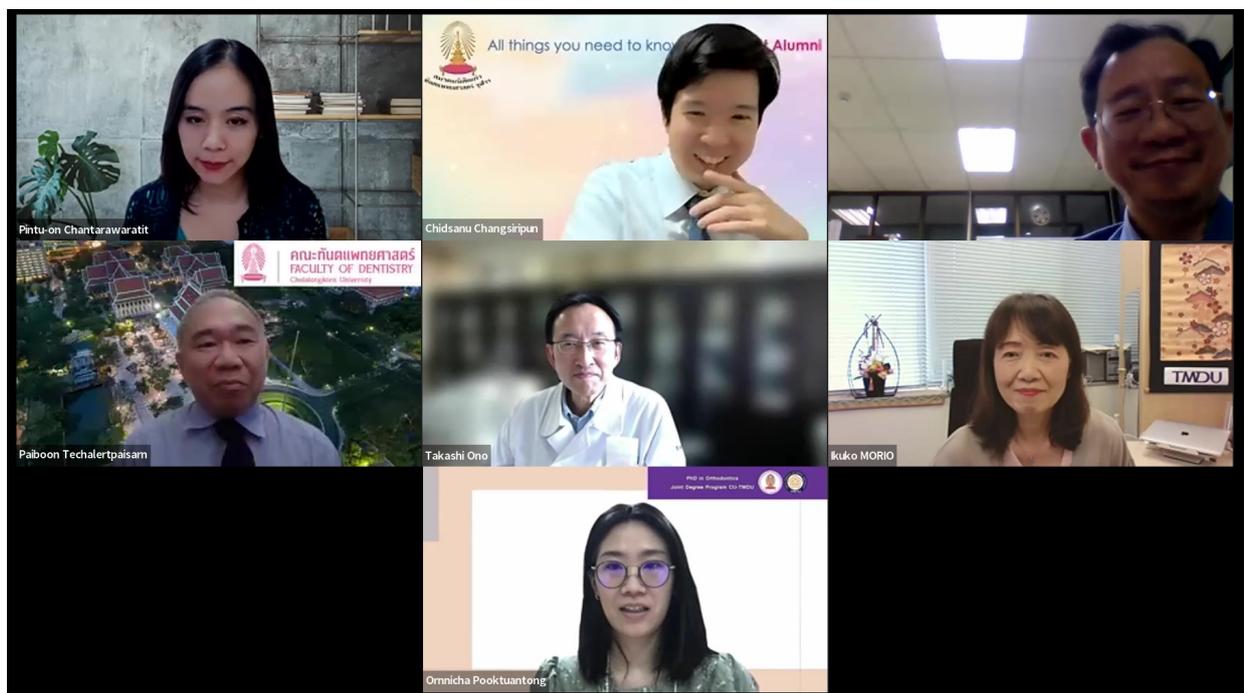


## ⑤ 「チュラJDP学位論文審査・試験」

本専攻では、学位論文審査までに2つの試験（進級試験、論文企画試験）を課しています。2021年7月に2016年入学（第1期生）3名のうち2名が修了しており、残る1名も2022年3月28日に学位論文審査を行い、無事合格した暁には第1期生全員が修了したことになります。

また、学位論文審査と同日に2021年入学生（第6期生）の進級試験、2021年11月29日に2019年入学生（第4期生）の論文企画試験が行われ、いずれも全員が合格しています。第1期生に続き、着々と本専攻修了への道を歩んでいます。■

✧ 統合国際機構 国際交流課 JD・MPH係



【発行日】 2022年(令和4年) 4月28日

【制作】 国立大学法人 東京医科歯科大学

統合国際機構国際交流課総務係 (E-mail: kokusai.adm@tmd.ac.jp)

[https://www.tmd.ac.jp/international/globalization/tmdu\\_international\\_collaboration\\_centers/thai/](https://www.tmd.ac.jp/international/globalization/tmdu_international_collaboration_centers/thai/)

【本学タイ拠点所在地】

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,  
11F Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn  
University,  
Henri-Dunant Rd. Patumwan, Bangkok, Thailand